

# 国際交流のひろば

## 新入留学生オリエンテーション

4月28日(水)12時から人106において、4月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

「4つの留学生支援方針」「留学生履修プログラム」「留学生支援に関する役割」「チューター制度」「修学・生活上の諸手続き」「学生教育研究災害障害・賠償保険」「宿舍入居の注意点」「論文・レポート作成時の注意」等について、佐藤留学生支援専門部会長、研究連携課、学生支援課職員から説明がありました。



## よろしくお願ひします!

4月に入学した留学生は中国9名、台湾1名、ミャンマー1名、ジンバブエ1名、マラウイ2名の14名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は、博士課程を含めると32名となりました。(未渡日の学生がいるため、写真は11名です) 新入生に自己紹介をお願いしました。

### 大学院1年(美術) 趙 静(中国)

出身は「東方の小パリ」と呼ばれる中国のハルビンです。2年前に来日し、日本語学校で勉強しました。日本では面白いことや大変なことがありました。初めて家族と離れて、問題があった時、諦めようかと考えましたが仲間や先生から大きな励ましをいただき、生活と勉強の楽しみを味わえるようになりました。周りの人たちに助けられ、目標に向かって諦めずに進めば、明るい道が必ず見えるようになると思いました。今は上教大で、皆さんと一緒に勉強や交流ができます。これから自分の能力を発掘し、失敗を恐れずに挑戦し、充実した留学生生活を過ごしたいです。国際交流に貢献し、中日の架け橋となるように努力します。

### 教員研修留学生 ゴー・ニヤイン・ウー (ミャンマー)

初めまして。私はミャンマーで高校の英語教師です。今は大場ゼミの学生です。私の妻も中学校の数学の教師です。私は去年12月に日本に来ました。とても寒かったです。日本は駅も電車も家も街もとても綺麗です。電車もとても便利です。日本にはいろいろな花があり、私は桜が一番大好きです。高田公園で桜を初めて見る機会がありました。とても綺麗でした。私は日本の食べ物も好きです。特にお寿司が一番大好きです。時々、友達と一緒に外食します。日本語と日本文化も興味があるから一生懸命勉強しています。日本語が上手になりたいので、もし私の日本語が間違ったら直してください。これからよろしくお願ひします。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

# 国際交流のひろば

## 学長と4月入学留学生との懇談会

5月24日(月)12時から学長室において学長と4月に入学した留学生との懇談会を実施し、学長、佐藤留学生支援専門部会長、松尾副部会長と留学生11名が出席しました。

最初に、学長から歓迎と励ましの言葉があり、続いて留学生の自己紹介と日本や上越の感想、興味深いことなどについて和やかに懇談が行われました。留学生は2つのグループに分かれ、時間をずらして行いました。



## 留学生の交通安全教室



6月2日(水)14時30分から人106教室において実施し、留学生12名が出席しました。

今年度第1回目の交通安全教室は、自転車の交通ルールや道路での乗り方についてDVDを視聴しながら学びました。

佐藤留学生支援専門部会長から自転車の便利な点や気を付けるべきことについてお話があり、留学生は真剣な様子で聞いていました。

10月には上越警察署の方をお招きし、秋の交通安全教室を実施する予定です。

## 語学教室が始まりました

6月2日(水)12時10分から第2講義棟104教室において、中国語教室が始まりました。

中国出身の留学生が講師となり、学生、職員9名が参加し、学校で児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

参加者の目的は「様々な人と話せるようになり将来の可能性を広げたい」「中国人の子どもを支援する時に少しでも理解できるように」「コミュニケーション能力の向上」など様々です。

この語学教室は全7回行う予定です。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

# 国際交流のひろば

## 各種奨学金に関する説明会



7月7日（水）13時から人113において、私費外国人留学生を対象とした各種奨学金に関する説明会を行いました。

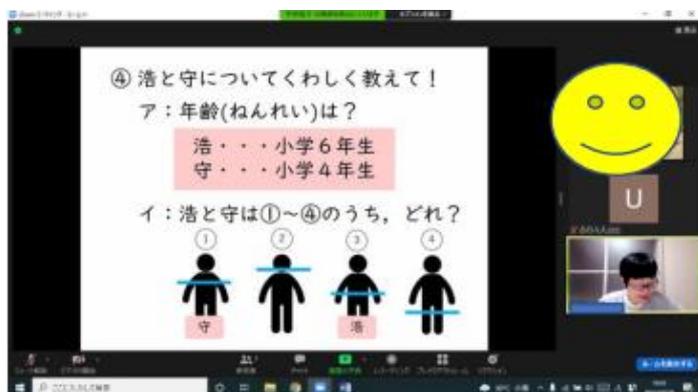
学業・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする留学生に対し、修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「J E E S 留学生奨学金（修学）」等の内容や応募方法について近藤留学生支援専門部会委員から説明しました。

## 留学説明会

7月27日（火）12時10分から人114において、日本人学生を対象に本学と協定を締結している海外の大学についての情報提供を目的とした留学説明会を行いました。周東協定校交流推進専門部会長からの協定校の紹介、トビタテ！留学JAPANでノルウェーに留学した大学院生からの留学体験発表があり、参加学生は留学をより身近に感じることができました。また「JASSO海外留学支援制度（協定派遣）」「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」についても説明がありました。



## 夏休みの宿題教室



7月26日（月）～28日（水）16時20分から 夏休みの宿題教室を開催しました。

この宿題教室は上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に学習支援を行うものです。

外国人留学生及び日本人学生26名が支援者として参加し、小学生から高校生までの児童生徒23名が支援を受けました。

夏休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心に、WEB会議システムを利用したオンライン上で学習支援を行いました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）

## 短期外国人留学生成果発表会

9月15日(水) 14時から人113において、令和2年10月～令和3年9月の期間、本学協定校からの日本語・日本文化研修留学生の成果発表会を開催しました。

日本での留学生活と本学での学習成果について「日本とトルコの大学生の「目立つ」ことへの意識」というテーマで発表しました。



## 短期留学生修了証書授与式



9月6日(月) 15時から学長室において、短期外国人留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から特別聴講学生として在籍した日本語・日本文化研修留学生に修了証書が授与されました。



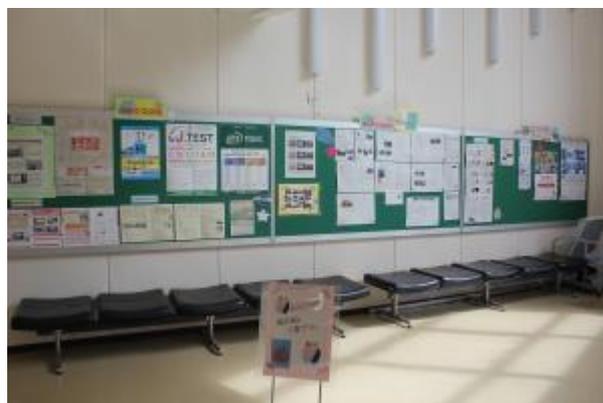
### 日本語・日本文化研修留学生

#### エテシ・エリフ (トルコ)

みなさん、こんにちは。この一年間でいろいろな経験ができて、視野が広がったと思います。感謝しています。日本に限らずほかの国々からの人たちと時間を過ごせて多文化を理解できるチャンスをもたらえたことでとてもうれしいです。日本の紅葉も花見も大好きで、いろいろなおいしい日本料理を味わって楽しい留学ができました。いろいろなイベントで自国の紹介をしたり、セミナーで数々の国からの人たちと自分の人生を語ったりして良い国際交流ができたと思います。また個人研究を行うことでアンケート調査に回答してくれた学部生たちのおかげで研究を作成できまして、ありがとうございます。コロナウイルスの状態があったのに、日本への留学でこんないろいろな経験ができてとても嬉しいです。指導教員の原先生、先生方、学生たち、一年間ありがとうございました！

## ご案内 (掲示版)

講301前のホールに  
国際交流に関する  
様々なポスターや案内を  
掲示しています。  
ぜひご覧ください。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel: 025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



# 国際交流のひろば

## 令和3年度留学生の日本の文化・歴史体験に関する研修

11月24日(水)午後、糸魚川市において研修を行い、フォッサマグナミュージアム、谷村美術館・玉翠園、ヒスイ海岸、マリンドリーム能生を見学しました。この研修は留学生に日本文化・歴史体験や交流の機会を提供することを目的に行っています。毛さんから感想文を寄せてもらいました。

### 研究生 毛宇麟(中国)

留学生が日本の文化や歴史を体験するために、糸魚川市の様々な所に連れて行ってくださいました。糸魚川フォッサマグナミュージアム、谷村美術館・玉翠園とヒスイ海岸に行きました。

ミュージアムで多種の石を見て、糸魚川に関する知識も勉強しました。石は翡翠や水晶など様々あって非常に綺麗だったと思います。次に、谷村美術館・玉翠園に行きました。その中には木彫芸術家澤田政廣先生の作品がたくさんあって素晴らしかったです。日本スタイルの庭園も非常に綺麗で驚きました。美術館の後、ヒスイ海岸に着きました。天気が悪かったが、皆さんと一緒に波を見たり、写真を撮ったりして楽しかったです。

今回の研修のおかげで、糸魚川市の歴史を学んだことだけでなく、皆さんとも仲良くなることができるととても嬉しかったです。次回の研修も楽しみにしています。



フォッサマグナミュージアム



谷村美術館・玉翠園



## 修了生からの手紙



令和3年3月に修了し、コスタリカで活躍されているマリアさんからお手紙が届きました。

### 令和2年度教員研修留学生 SOTO CHINCHILLA MARIA JOSE (コスタリカ)

お元気ですか？私は日本に住むことに強い憧れがあり、それは夢のようで、もちろんコロナウイルスは抜きです。現実はいずれ違いましたが。私は上越に1年住んで、もっと長く住めたらいいのと思いました。それでも多くのことを学び、素晴らしい人々と出会い、それらは将来日本に戻りたいと強く思わせます。去年の3月にコスタリカに帰国し、家族や友達と一緒に過ごしたいと思っていましたが、それは難しいことでした。コスタリカも厳しい状況にありました。学校に関してはその家庭ごとにオンライン授業か学校で受けるかを定めるため、全ての生徒と顔を合わせて授業することができませんでした。日本から帰国して、私は日本語学習を続けることにしました。そして日本の先生の元で補助として働く機会を得ることができました。日本での留学生としての生活やその旅が終わったとしても、まだこのように日本に近づくことができるのがすごく嬉しいです。今、私の心は日本とコスタリカと共にあります。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



# 国際交流のひろば

## 令和3年度留学生が語る／留学生と語る会

12月8日(水) 14時30分から高田世界館において開催し、市民、学生、教職員など22名が参加しました。

最初に高田世界館の支配人、上野様による館内見学と説明をいただき、その後、松尾留学生支援専門部会副部会長の進行のもと『世界の映像文化を語ろう』をテーマに、留学生4名(ミャンマー、ジンバブエ、マラウイ、中国)が自国の映画やアニメを紹介し、意見交換を行いました。

参加者からは「留学生の工夫をこらした発表がすごく良かった」「教育格差について国を越えて語り合うことができることを知った。4人の発表を通じて同じ視点に近づき、共感できた」「久しぶりに映画を見たくなった。高田世界館の雰囲気も素晴らしい」「おもしろかった」などの感想が寄せられました。



## J.TESTの受験と講評

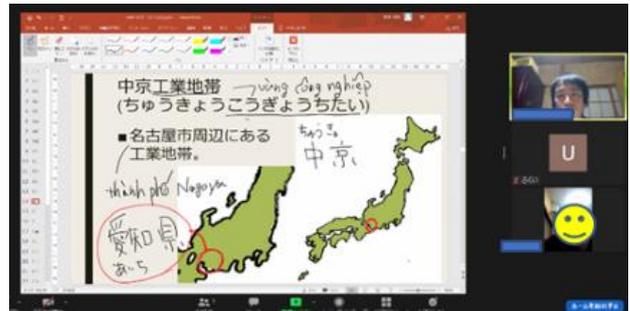
11月6日(土) 留学生がJ. TEST 実用日本語検定を受験し、12月10日(金) 田島留学生支援専門部会委員より試験の成績通知と講評が行われました。留学生が受験したものは中級～上級者向けで、本学では留学生の日本語支援に役立てることを目的に毎年実施しています。



## 外国につながる子どもたちへの修学支援事業「冬休みの宿題教室」

12月26日(日) 27日(月)に実施しました。これは上越地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒が冬休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心に留学生及び日本人学生が学習支援を行うものです。

参加した児童生徒は21名、支援を行った留学生及び日本人学生は23名で、Web会議システムを利用して実施しました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel: 025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

# 国際交流のひろば



## 令和3年度留学生との意見交換会



1月19日(水)16時30分から人113において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員が出席しました。

押木国際交流推進センター長の挨拶の後、小グループに分かれ意見交換を行いました。

留学生からは冬の生活の不安、宿舎、大学の授業、就職など日頃の悩みや考えていることの見解・要望が出され、アドバイスや解決方法などが話し合われました。

この会で得た意見は、今後の留学生支援につなげていきます。



## 世界を語ろう!



1月19日(水)から留学生交流プラザにて「世界を語ろう!」を行い、留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉などについて交流します。1/19劉玥さん(中国)、2/2ゾーニャインウーさん(ミャンマー)、2/9野本瑛資さん(日本)が語り手となり、参加者と和気あいあいと和やかな時間を過ごしています。



## よろしくお祈いします

12月に渡日した留学生はトルコ1名、ブラジル2名、チリ1名です。

これにより、本学で学ぶ留学生の数は博士課程を含めると37名となりました。

カミラさんに自己紹介をお願いしました。



### ディアス・ヘンリケ・カミラ・フランシスカ (チリ)

皆さん、こんにちは。チリは南米にある細長い国で、太平洋を斜めに渡って、日本といつもお互いに津波を送ったり、受け取ったりしています。残念な話かもしれないが事実です。私の専門は絵画で、中学校と高校で美術教師として働いていましたが、日本での画像を通して物語を伝える伝統的と現代的な方法について興味を持ち、国費留学生として、上越教育大学でこの課題を研究することになりました。日本文学にもずっと興味を持っていて、数年前、日本で勉強することは想像もしなかった時、川端康成が書いた「雪国」を楽しんで読みました。この冬休みに初めて春日山駅から上越妙高駅まで電車に乗って雪景色を見た時、その作品を体験しているように感動しました。

雪国に来て、良かったです。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

# 国際交流のひろば



## 令和3年度修了留学生成果発表会

2月15日(火) 13時30分から音楽棟201において、修了留学生成果発表会を開催しました。

発表者は令和3年4月から1年間、本学で学んだ教員研修留学生4名(マラウイ2名、ジンバブエ1名、ミャンマー1名)と大学院2年(中国)1名の5名です。

それぞれ、本学での研究成果及び留学生活の感想や思い出、修士論文を書くことについての後輩へのアドバイスなどを発表しました。



## 令和3年度留学生スキーのつどい

2月22日(火) 上越市安塚区のキューピットバレイスキー場において、留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して、参加者相互の親睦を図ることを目的として実施しています。昨年度は実施せず、今年度は2年ぶりの実施となり、留学生は楽しみに参加していました。

初めてスキーを体験した呉苑群さん(中国)から感想文を寄せてもらいました。



### 大学院2年 呉 苑群 (中国)

私の故郷は中国の福建省なので、スキーはおろか、雪も見ることがありません。バスでスキー場へ行く途中の雪景色はとても素敵で、雪国を離れたら、この光景を再び見ることはできないのではと感じました。スキー場では、靴を履いて歩くのは大変でした。体操の後、インストラクターに付いて少しずつ練習を開始しました。コツがたくさんあって、昨晚YouTubeの動画で見たものの、実践では難しいです。歩いてのぼり、滑ったら、意外とうまくいって、スピードが出ると少し怖いけど、ワクワクしました。何度か練習した後、コーチが「リフトで頂上まで行ってみるか」と言いました。下りるときにスピードとブレーキのコントロールができなかったので、コーチに助けられました。膝や足首が痛くなったけど、それでも楽しくて、練習を続けたいになりました。去年はコロナでスキー活動がキャンセルしてしまったのが残念ですが、あと1年早くやっていたら、今頃はもっと上手になっていたでしょう。スキーをする機会を与えてくれた大学、同行してくれた先生方、ここまで連れてきてくれた運転手さん、教えてくれたコーチに感謝しています。今回のスキー活動はとても良い思い出で、また日本に来ることがあれば必ず来ようと思っています。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



# 国際交流のひろば

## 令和3年度教員研修留学生修了証書授与式

3月10日（木）15時から学長室において、昨年4月から在籍していた教員研修留学生4名（マラウイ2名、ジンバブエ1名、ミャンマー1名）に修了証書が授与されました。  
バセラ・ティナシェさんから留学生活の感想文を寄せてもらいました。

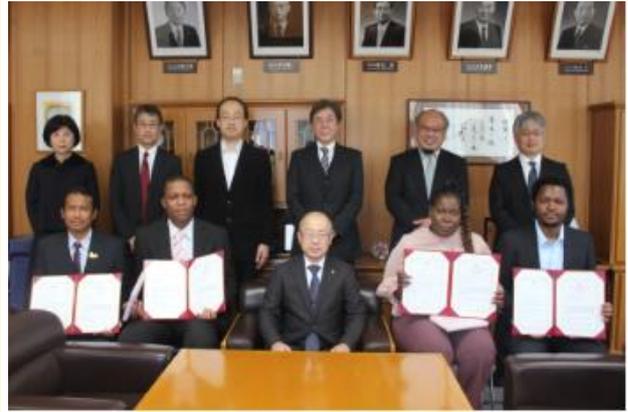
### 教員研修留学生

#### バセラ・ティナシェ（ジンバブエ）

日本で勉強し、生活する機会を与えてくれた文部科学省に感謝します。この間、私は本当に楽しく、多くの恩恵を受けることができました。

ジンバブエに帰ったら、学校に復職し、日本で学んだ音楽教育を、様々な障がいを持つ生徒への指導に役立てたいと思います。また、日本の楽器を映像や写真などで紹介したいと思います。

指導教員の尾崎先生、先生方、スタッフの皆様感謝します。どうもありがとうございました。



## 修了留学生への記念品贈呈式



3月10日（木）15時15分から学長室において、3月に大学院を修了する留学生7名に対し、学長から記念品が贈呈されました。

修了生代表として邱靖森さん（中国）が「修士課程で先生方や研究室の仲間など、多くの方々との出会い、研究への姿勢を学びました。これらは私たちの今後の人生における貴重な財産です。これからの道のりには様々な状況に直面することがありますが、学んだことを思い出し精進してまいります。」とお礼の言葉を述べました。

## 買い物バス ーありがとうございます!ー

留学生から、冬は買い物に行くのがとても不便であるため、買い物のためのバスを出してほしいという意見があり、これを受けて、大学のバスを利用して買い物に行く機会を設けました。

この冬は2回、買い物バスを出し、イオンと直江津ショッピングセンターに行きました。買い物を終えた留学生は両手いっぱいの荷物を抱えて、この機会を活用していました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）